

# 足久保保育園 自己評価

A…できた B…一部改善が必要 C…改善しなければならない

1. 保育理念・保育方針		
1	園の保育理念、保育方針が明文化され全職員に周知されている	A
2	園の保育理念、保育方針を基に全体的な計画が立てられている	B
3	定期的に保育方針や保育観を職員間で確認する機会がある	B
4	園の保育理念、保育方針が利用者等に周知されている	A
<p>次年度に向けて園の保育理念、保育方針を説明し確認し合っているが、保育所保育指針の改定に伴い確認するだけでなく、今後、保育に対する思いなどをもっと話し合い、全体的な保育計画の見直しや行事の見直しを行っていききたい。そして、実践後は必ず見直しを含めたPDCAを行い、子ども達の成長を振り返りながら次年度への保育に生かしていきたいと考える。</p>		
2. 保育計画の策定・保育実践		
1	事業・保育計画が職員に周知されている	A
2	事業・保育計画が利用者等に周知されている	A
3	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	B
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	B
<p>年度前に保育理念、保育方針を基に現担任と次年度担任で子ども達一人ひとりの報告をし合う。職員会議や乳児会議、幼児会議などで全体的な保育計画の見直しを行い、保育に対する思いなどを話し合う場を設け、その上で一人ひとりに合った個々の保育計画と全体的な年間、月間の保育計画を立案している。昼に各クラス、乳児・幼児会議、時には全体会議の場や職員会議でクラスの問題点、他クラスの保育内容を客観的に観察する場を設け、職員同士が共有できるようにしている。保育所保育指針の改定に伴い、話し合いの時間をより更に検討が必要である。</p>		
3. 安全管理・環境		
1	緊急時（事故・災害・感染症の発生時など）における利用者の安全確保の対策を実行している	A
2	発生した事故、怪我を把握している	A
3	事故補償（賠償）を行うための方策を講じている	A
4	一人ひとりが安心して過ごせる環境を工夫している	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応マニュアルを職員に周知し、いつでも閲覧できる場所に設置。また、保護者にも入園時に説明し配布している。</li> <li>・発生した怪我は事故報告とし全職員に周知し、軽い怪我も疾病記録に記入。各クラスが毎月ヒヤリハットを記入し職員間で把握し改善に努めている。</li> <li>・賠償保険に加入している。子どもが安心して過ごす環境は常に子どもの心情と発達に応じて変化させていきたい。</li> <li>・防犯、見守りカメラを設置しているが、カメラだけに頼らず常に職員全員で安全に見守りを行っていく。</li> </ul>		

4. 地域社会や小学校との連携		
1	利用者と地域との関わりを広げる働きかけを大切にしている	A
2	施設が有する機能を地域に還元している	B
3	地域の保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流を行っている	B
4	ボランティアや実習生の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、受け入れ体制が整えられている	A
<p>土日祝日は保護者の方々の協力を得て地域の主催する催しには出席し交流を深めているが、平日は交通機関の関係でなかなか実施できない状況である。幼保小中一貫教育を踏まえ、学区の小学校、保育園、こども園との交流をしていくためには、どのようにしていけばよいか課題となる。ボランティアや実習生受け入れは行っているが有意義な実習が提供されているのか、施設としても見直していきたい。</p>		
5. 食育		
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	調理師、栄養士、保育士が連携し、食育を積極的に進めている	B
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A
<p>園のプランターや畑で栽培収穫したものをクッキングに使用する他、給食材料として提供。季節を感じる献立の中に取り入れている。離乳食や除去食は一人ひとりに合わせて離乳食会議で保育士と調理師が話し合い、安心した給食の提供に努めている。年間を通し食育計画を立てているが、今以上に子ども達と関わった食育を行っていきたい。</p>		
6. 職員体制と役割・研修		
1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるよう心掛けている	A
2	職員は互いに情報を共有し合って教育及び保育を進めている	A
3	園内、園外研修の年間計画を立て実行している	B
4	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	B
<p>前年度末の反省と次年度への取り組みを年度初めの統括会議やリーダー会議において話し合っている。それぞれの立場や役割についてお互いが理解した上で職務に当たっている。園外の研修は計画を立て、資質が高められるよう交代で参加しているが、全員が自主的に意欲的に取り組む姿勢になれるよう努力が必要である。園内研修を時間のない中で更に充実していき、外部との合同研修などを取り入れ職員の資質を高め合っていき、意欲ある職員集団になれるよう努力していきたい</p>		

7. 子育て支援・保護者支援		
1	地域で子育てしている親子と園児との交流を積極的に進めている	B
2	保護者に対し、園での子どもの様子がわかるよう発信をしている	A
3	保護者の状況等、個人情報の漏洩に気を付けている	A
4	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感する様心掛けている	B
<p>地域の子育て支援としては年間の計画を立て、各町内に毎月回覧でまわしてもらえるようチラシを配り、気軽に行事や園に遊びに来てもらえるよう年間の内容も見直している。</p> <p>保護者の子育てを支えられるよう心掛けているが、日々これからも努力していきたい。</p> <p>園での様子をクラスだよりや園だよりで配布、掲示している。日頃の様子や、行事の写真を撮り、業者に依頼し販売している。</p> <p>個人情報の漏洩については入園時に説明し、職員は守秘義務契約書を交わし周知徹底している。</p>		
8. 福祉サービスの実施		
1	施設などの運営に関して保護者などの意見を聞くための取り組みを行っている	B
2	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知、機能している	A
3	一時預かりは一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A
4	提供されるサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている	A
<p>保護者アンケート等を実施し、意見を聞き少しずつ改善できるよう心掛けている。</p> <p>苦情解決の仕組みは入所時に説明し、保護者からの苦情は真摯に受け止め対応し努力をしている。</p>		